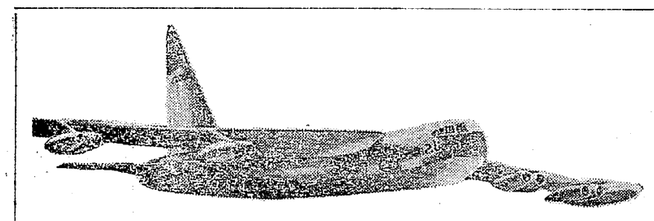
平和特集号

広島・長崎・ビキニ　この惨劇を二度許すな



目をそらさないで

一閃に
一つの向日葵が萎み
二五〇・〇〇〇の人間が
物体になった

瓦礫
塵煙
ものの腐るにおい

倒れたときの姿勢で
裸の死体が訴えていた
〃目をそらさないで
私を見てください〃

公園にあつまつて〃市民平和大会〃がひらかれた。〃第四回世界大会を成功させよう〃〃八月六日の惨劇を忘れるな〃など四項目のスローガンのもとに、世界大会出席代表者の紹介をはじめ、意見発表にうつつたが、平和がいかに重大であるかが切切と訴えられた。

反対緑ガ丘平和大会」がもよおした。参加者は約八百名、真赤に燃えた夕焼雲のもとで、坂田荒尾市長ら出席して盛大な大会をひらいた。子供も白髪の老人までも参加「ここ緑ガ丘の一角から平和運動をおこし、みなさんとともに手をにぎりあつて平和のためにすすみましょう」と叫び、意見発表が各氏からなされ、平和運動を推進することが誓いあわれた。

労働者が先頭に　俺は私はこう考える

戦争屋たちの戦争への狂弾をよそに、世界の各地では平和への願いがほうはいとして湧きおこつている。では、組合員は平和の問題をどう取組んでいるのか。以下、各氏から編集部へ寄せられた平和への声をみてみよう。

平和と一票

お盆がきた。
仏壇の前には提灯や果実がならべられ香煙はほのかに立ちのぼつている。
仏様の種類もいろいろある。山に青春をささげて遭難した人、交通事故でトン死した人、この世で結ばれぬならあの世でと派手に情死した人、薬石効なく病死した人などいるが、なかでも戦争で死んだ人があの世で絶対多数を占めている。
毎年々々盆を迎える度に供養をされているが「ナムアミダブツ」をとえるだけが供養ではなかろう。
死んだ人は帰つてこない以上、生き残つた者は何をなすべきか、それは再びこの地上に戦争を起さぬ平和を求めることだ。各党はその手に祭りをこめて戦争反対への一票を投ずることだ。
（製作　一組合員）

全国民が一つに

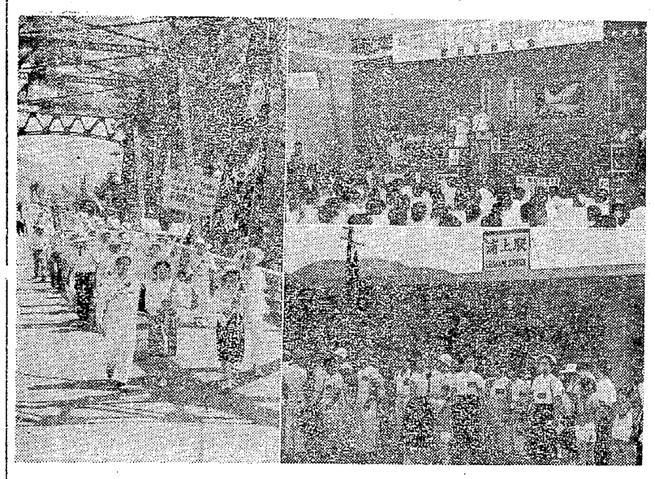
笹林公園でひらかれた、平和のための市民大会に参加しましたがいままでのいろんなデモとちがつて、地域婦人会や青年団も参加しているので大変うれしかつた。「平和」の問題では、地位や考え方のちがいをこえて、全国民が一つにならなくては、実現しないことですから。
（主婦会員）

勇気を出そう

平和を守れ。と言つてもピンとこないが、戦争をやめよう、原水爆を地球上からなくそう！というと、「そうだ!!」と思う。
昨年、大牟田にも原水協ができることは平和委員会結成への気運が高まつているが、このような平和運動にはみんなが積極的に参加しよう。心の中に思つていることを、行動に移さなければ、運動は進まない。そのためには勇気が必要だ。
（本部　江上真佐子）

国民の一大運動へ

戦後最大の危機といわれる今日の国際情勢のなかでひらかれる、今回の世界大会は、とくにこれまでの大会とは、質的に違つた非常に重大な意義をもつ大会となるであろう。
すなわち、ソ連の一方的実験停止にもかかわらず、米英は、全人類の期待をよそに、実験を引き続きおこなつており、その結果、放射能による汚染は、もはやギリギリの限界点に達しようとしている。
さらに極東においては、水爆パトロール、核兵器の持込み、ロケット基地の拡張、設置など具体的に戦争態勢が強行されている。
それとならんで、もつと恐るべき脅威は、いうまでもなく米英軍のレバノン、ヨルダンへの派兵をめぐつて中東にひき起された戦争の危機である。
これら緊迫した国際・国内情勢を正確に認識し、こんかいの世界大会こそ原爆死か平和かの運命をかけて、われわれの意志と力で、在来の運動をひろげ、結びつけ、より巨大な共同行動を打ちださねばならない任務をもつている。
今日まで、全国各地で原水爆禁止のスローガンのもとにおこなわれてきた平和運動は、戦後十三年をへた今日、ようやく全国民諸階層の理解と支持をうるまでに浸透しはじめているが、その反面、岸内閣の政策はこれら国民の要求と気持を実現する方向にはまつたく背を向けていることを忘れてはならない。戦争政策に反対するあらゆる民主勢力に加えられる圧迫は、治安維持法に名をかりて、戦争態勢を固める戦前の政策を考えるとき、この方向は、自らあきらかなものである。このときに当つてひらかれる世界大会は
(1)原水爆禁止運動が、一般的、抽象的な論議でなく、さらに全国民のつよい支持をうけ、大衆運動として展開される具体的な行動となること。
(2)このためには情勢の変化、運動の内容、経過を冷静に反省し、現時点の上に立つた実践課題をしめすこと。
(3)さらに、その運動にたいして全世界の世論の強力な背景が一段と要請される。
以上三点を中心として前半ひらかれる日本大会では、とくに日本の政治の問題を討論することによつて岸内閣を動かし、その政策を転換させる方向を明示すべき役割をもつている。さらに引続きおこなわれる国際会議で、その内容、背景を充実させる意味で、より効果あらしめなければならない。
労働者は、この方向で国民諸階層との連帯をふかめ、効果ある平和運動を拡大してゆかねばならない。
（富浦　F生）

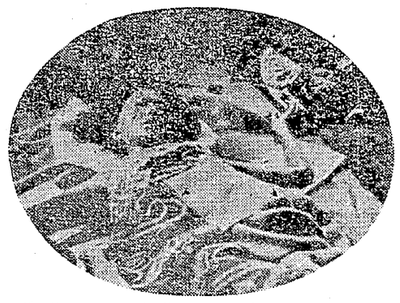


組合も平和問題には真剣にとり組み、積極的に運動に参加した左は炎天下ながれる汗もいとわずすすむ平和行進（第一日目船小屋で）、右上福岡でひらかれた県民大会、右下第二回世界大会は長崎でひらかれたが、組合からも女性をまじえ多数参加した。浦上駅頭で勢揃いした行動隊と女子組合員。

原爆の洗礼をうけた被爆者たちは、いまも雄々しく平和をかちとるために立上つている。この人たちの存在は一日でも忘れることはできない。上は長崎大会に出席した被爆者の人たち。下は平和の折鶴が組合へ続々寄せられ、大会出席者はこれをたずさえて出席した。

この発言に注意！

グレス長官は講和条約の結ばれた翌年の昭和二十七年五月七日米議会で「安全保障条約は侵害条約ではない。もちろん日本のための安全保障ではない。それは、アメリカの安全保障計画の一部である」と言明。政府のいう共同防衛の正体が何であるかをズバリいいきつた。
スタンプ米太平洋司令官は日本自衛隊が希望するなら「ナイキ」「オネスト・ジョン」をいつでも供与する用意があると言明したあと「日米安保委員会は安保条約の改訂を討議する場所ではなく、在日米軍の配備、行動、日本自衛隊の強化などを相互に協議する機関である」といつている。
マケルロイ国防長官は、下院軍事予算小委員会で「沖縄にIRBMを配置」することを言明し、同外交委員会の秘密証言において「もし、日本に積極的意志さえあれば実質的な軍事力を維持することができる」と答弁した。また、ワシントン・INS電は「極めて信頼できる筋が言明したところによると、日米両国はすでに日本領土内にミサイル基地を将来設定する可能性について非公式の話し合いを行つているといわれる。この基地はどのような型のミサイル基地か明らかにされていないが、米側としてはこれまで欧州にIRBMを送る意向だと言明しているので、日本の場合もおそらく同じIRBMの基地かも知れない」と伝えている。ここでいう日本領土内とは沖縄には留し合いぬきで設置できるから、これは日本本土を指すものといわれる。
日本にはすでに原爆搭載機B・57、F100やオネスト・ジョンが持ちこまれているが、バーク海軍作戦部長は「第七艦隊は空母は原水爆攻撃の可能なA3D、A4D艦上機を搭載しているが、空母以外の主要艦も核弾頭をつけられるレギュラス（対地）タロス（対空）の誘導弾を装備している」と言明した。
岸首相はこれについて三月十一日の衆議院予算委員会で「在日米軍が核兵器を装備することを拒否する法的権限なし」「沖縄の米軍機が水爆を装備して日本上空をパトロールし、給油したとしても日本側にこれを阻止するなんらの条約上の根拠なし」と答弁している。
藤山外相も三月二十七日の衆院内閣委員会において「米国は条約上日本へ核兵器をもつてくる権利をもつている」と答弁した。



目をそむけたくなるほどのむごたらしさだ。何の罪があつてこんなひどい目にあわなければならないのか。
（広島にて）

世界の各地で平和運動はつづけられている。平和を願う気持は国境をこえて、全人類の悲願である。手をとりあつてすすもう。

書読　平和運動の手引書

「核武装なき日本を」問答形式のわかり易いパンフレット。〃なぜ平和運動が必要なのか〃の疑問から、日本にどんな危険が迫つているのか、そのなかでのソ連の核実験停止の意義などにふれつつ、世界情勢を鮮明に理解させてくれる（日本平和委員会刊。A5版、48ページ。30円）
「平和日本」戦争と平和のあらゆる問題をタイムリーに解説し、新しい視野と正しい判断をあたえてくれる。座談会平和理論の論壇、解説、平和運動の経験交流、世界の運動紹介、資料などを毎号掲載（日本平和委員会機関誌。月二回刊。B五版二四ページ。一冊三〇円、半年三五〇円）